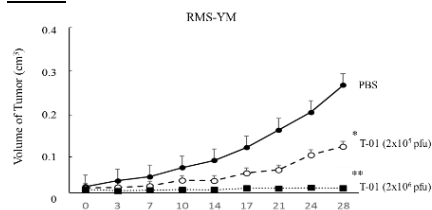


ID No.	1035
研究課題名	ヒト肉腫に対する増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた新治療法の開発研究
研究代表者	海堀 昌樹 （関西医科大学・診療教授）
研究組織	
受入教員	藤堂 具記 （東京大学医科学研究所・教授）
研究分担者	松島 英之 （関西医科大学・病院助教） 八田 雅彦 （関西医科大学・病院助教） 奥村 忠芳 （関西医科大学・）

研究報告書

in vivo:ヌードマウス皮下腫瘍モデル(ヒト平滑筋肉腫細胞株:RMS-YM)における T-01 による腫瘍抑制効果の検討

ヌードマウスヒト平滑筋肉腫モデルに対して濃度別投与（T-01 : 2.0×10^5 pfu, 2.0×10^6 pfu）を施行した。結果は濃度別投与で T-01 の有意な腫瘍抑制効果を得られた。



in vivo:両側皮下腫瘍モデル(マウス肉腫細胞株:CCRF-S180II)におけるT-01による腫瘍抑制効果の検討

ICR マウス両側皮下腫瘍モデル（マウス肉腫細胞株:CCRF-S180II）に対して濃度別投与（T-01 : 2.0×10^5 pfu, 2.0×10^6 pfu）を施行した。結果は濃度別投与で接種側腫瘍及び非接種側腫瘍で T-01 の有意な腫瘍抑制効果を得られた。非接種側での腫瘍抑制効果を認めたため、T-01 投与による免疫学的効果が示唆された。